

和歌(初句・四句)索引

		あ		い		う	
	歌番号						
あかきつきには	二一	あやめもしらぬ	七	いはまのみづの	六	いはまの	四
あかずとて	元	あつまちの	三六	おとたえぬなり		おとたえぬなり	三三
あきのことのは	三	あとぞまことに	二〇	ゆきやらぬかな		ゆきやらぬかな	二五
あきかせの	三六	あとはかもなく	九	いかでころもの	三〇	いかでころもの	二六
あきのやまへの	三六	あともなく	九	いかではるかに	二五	いひかけば	三
あきはしのだの	三六	あとをだに	二六	いきのまつばら	三三	いふよりほかの	六
あきはてがたを	二七	あふぎてふ	二五	いせのうみの	三三	いまこそめをも	三三
あきふかく	二七	あまのつなでや	二六	いつこもこれや	二〇	いまはとて	二五
あきてのち	二五	あまのとや	二五	いつのまにかは	二七	いまひといろを	二六
あさきうらには	二五	あまはふかきを	二五	いつのまに	二七	いまより	二五
あさきには	二五	あまおねに	二五	いづれのかたの	二〇	いりくるつきの	二二
あさごとし	二〇〇	あらいそは	四〇	いでてより	二〇	いりぬるとき	二二
おきてみるらむ	二〇〇	あらいそは	四〇	いとこそたえね	二〇	いるまでしらぬ	二〇
みどりのいろの	三六	あらいそをのみ	四	いなばのつゆの	二七	いろみえぬ	二〇
あさしやなにか	三六	あらはに	三九	いにしへに	二九		二〇
あじろによらぬ	四四	あらはれにしも	一〇〇	いのりかけける	三三	うぐひすを	三六
あだなみの	四四	あやなくこよひ	三三	いはまのかた	四	うすくこく	二六
				いはまのつらら	四	うたかたをだに	三

うちつづき	三三	おもひしらるる	三三	かへるもしらぬ	三三	くもゐのはなを	一
うちまですまの	一六	おもひしる	三三	かみなづき	一三〇	くらからずこそ	一五
うつつには	一六	ひとあらしを	三三	かりがねの	七	くるしきに	三
うつれるかげぞ	二九	ほどふることも	三三	かりそめに	四	くるひとも	三
うつれるみづに	三	おもひやれ	三	かれにける	一八	くるまをば	九
うのはなと	一七	あきみしひとの	六	かれゆくくさの	一四		一五
うらやましくも	三	ふゆごもりにし	四				
うれしさを	一七	おもへただ	一六				
お							
おいきにも	三〇	か	一六	きえかへりつづ	三	けさのわかなを	六
おきてみる	一〇	かかるおもひを	一六	きくひときへぞ	一五	けしきばかりに	三
おとにきく	一〇	かきねをば	三	きしにひまなき	七	けふくれば	一三
おなじくもゐる	一六	かきねをやどの	三	きしのしるしに	七	けふさへきたる	一〇
おなじながれの	三〇	かくるにいとど	一四	きのくにに	三	けふさへや	一〇
おなじなみにや	四〇	かささぎの	六	きみがよの	一三	けふなれど	一〇
おぼつかなくて	一五	かすがのに	七	きみにのみ	三〇	けふのあしまを	一〇
おぼつかなさぞ	四	かすまこめたる	七	きよみづの	七	けふのひかげに	一六
おもはずに	一三	かすみたつ	七	きりこめて	一四	けふまでゆきの	一六
おもはぬかたに	七	かたしきの	三〇	く	七	けふりたえせぬ	一四
おもひいでて	三三	かねてより	一三		七	けふりにとくと	一四
おもひいでよ	七	かはかぜに	一三		七	けふりばかりも	一四
おもひきや	一六	かばかりの	一〇		七		一七
	二二	かへでのいろを	一三		七		一七

こころぞそらに	一六	こころものうらに	二七	すむらむひとの	九
こころつくしに	一六				
こころとみづの	二五	さ		せ	
こころとみてや	二五	さきだちし	二二	せきのしみづの	六
こころにはなほ	二八	ささわけごろも	八		
こころにも	二七	さだめなかりし	二五	そ	
こころのそらに	一九	さととほみ	二七	そでかけし	一〇
こころぼそさを	二八	さもこそほ	二七	そばちぬる	一〇
こころみし	二九	さやけきほどを	二七	そまやまの	四
こころやそらに	二九	さよふけて	二九	たにのつららや	二四
こころをのみも	一九	ならぬだに	二九	たにのみづぐき	二四
こころをも	二六	し	二六	をのおとにや	二四
こたかきむめに	二六			そむきにし	三三
ここのはにのみ	二	しがらみに	二六	そまなほあかず	三三
ここのはの	六	しがらみふする	二六	そらごとひとに	一七
ここのはは	七	しがらめば	二五	そらしらずとは	四
このやまみちに	二四	しぐるとして	二四		
このよはよそに	二二	しぐるれど	二八	た	
こはかたはしの	二二	しぐれせし	二八	たきのおとも	一五
こひしきことぞ	二六	しぐるのみにして	二六	たきのおとをぞ	九
こひしきことに	二五	しげるよもぎと	二五	たぐひなき	三
こほりとくらむ	二五	したごほり	二九	たちいでてきぬぞ	六〇
こほりとけなほ	二五	したにながるる	二九	たづぬる	三〇
こゆべきやまの	二四	したにみだるる	二九	たづぬるやまの	三三

たづぬれど	一三	ちるはなの	一三	なみよるあしも	一三
たづぬきて	一〇	つ	八	なをだにかけて	一〇
たづねてきたる	三	つきかげに	一	なをたのむとも	三
たづねぬひとぞ	三	つきかげを	二〇		
たなばたの	三	つきこそよの	二〇	に	
おもひあまれる	三	つきとゆきとを	一〇	にほふめる	一七
すぎにしつきの	三	つきにはひとも	一〇		
たなびきこむる	三九	つきばかりをば	一五		
たにがはの	一四	つきみぬきみが	一〇	ぬのさらす	八
たにのしみづは	一四	つきをこそ	一〇	ぬるひとは	一〇
たびねする	三	つくりてのみぞ	三		
たびねにて	三	つねよりも	一	ね	
たびのやどりに	三	おほつかなきや	一	ねぎめてもみよ	一八
たまがはに	六	さきみだれたる	一	ねぎめのとこに	一
		つゆおきて	三		
ち		つゆしげき	三	の	
ちかくても	三	あきののはらの	三	のべごと	三
ちぎらぬに	一〇	こはきがはらに	三	は	
ちぐきのはなの	三	よもぎのやどの	二	はぎにおきたる	二
ちとせとや	一七	つゆもころを	三	はぎのかさをば	二
ちとせふるべき	二			はちすのうへは	三
ちりしける	二	と		はつねはきみぞ	三
ちりぬれど	一	とくべきほどに	一〇	はなすりごろも	三

はなたちばなの	一六	ひとごと	七	みやこしのふの	一六
はなのうへこそ	二	ひとまかよはぬ	六	みやこより	一三
はなのうへをば	三	ひともとに	七	みやまがくれは	二六
ははきぎに	二七	ふ	またぬよも	みやまには	一八
はるかなる	四	ふえのねを	まだはるながら	みをはなれける	二五
しもがれののに	二〇	ふかきにあとは	まぢいでて		
ひとにころを	四	ふくかぜに	まつはげにこそ	む	
はるたはば	二〇	ふじのねの	まつひくに	むかしがたりに	三〇
はるたてば	二二	ふたみのうらの	まつひとに	むかしににたる	二四
はるはみづこそ	二五	ふぢのころをも	あふぎとおもはば	むばたまの	一八
ひ		ふぢのころをも	かたりつたへむ		
ひかげさしいでし	一六	ふみなれけるも	まつみるよりぞ	めづらしく	一八
ひかげさす	一七	ふゆきむみ	まつむしと		
ひかげにも	一七	ふりけれど	まつるして	も	
ひかりことなる	二	ふりそめし		もみぢのにしき	一五
ひきおどろかす	一六	ふりつむゆきに		もみぢはの	一八
ひきつるほどぞ	二五	ふるくさそひし		もみぢは	一八
ひくこまの	二五	ほ		もろともに	二七
ひくはちとせの	二九			けふはみやまの	二七
ひくひと	三			たちもいでねば	二
ひくべきけふの	三			たまのよどのの	三
ひさしきよよに	一五				
ひたちなる	一五				

登場人物索引

あ行

章段数

- 安芸あき……………〇
- 頭家あき（頭家少将・権亮頭家）……………壘・壘・壘
- 敦家あつ（敦家少将・馬頭敦家）……………二・三・六
- 有綱あつな……………二六
- 伊賀少将いが……………七
- 伊勢いせ……………三三
- 伊勢大輔いせ……………三三
- 因幡いんぱん……………一〇
- 内裏うち……………一〇
- 内裏うち→上うへ……………一〇
- 内御前うちごぜん→御前ごぜん……………一〇
- 上うへ（内裏）〔後冷泉帝〕……………一〇・一九・三〇・三六・三六・三六
- 大殿おおい→殿どの……………一〇
- 兼綱かねつな（兼綱中將）……………六五
- むすめの君……………六五
- 清房きよむら（少納言清房）……………八

か行

- 蔵人少将隆綱くらうど……………三
- 蔵人くらうど弁べん師賢しけん……………三
- 蔵人くらうど弁べん師賢しけんべんべんももああかかたた……………三
- 源式部げんしきぶ……………三三
- 小式部せうしきぶ……………三六・三三
- 小少将せうしやう……………一
- 御前ごぜん（内御前）〔四条宮寛子〕……………一〇・一〇・一四・三〇・三三・三六・三六
- 小中将せうちゆうじやう……………一
- 小土佐せうどさ……………一〇
- 小民部せうたみぶ……………六
- 権亮頭家けんりやうづか……………一〇

さ行

- 讃岐守さぬきももととささだだ……………二
- 実綱みづな（大学頭実綱）……………二
- 三条中納言さんじやうちゆうなごん上うへ……………一・二四・三六・三六・三六
- 式部命婦しきぶのみこと……………一・二四・三六・三六・三六

信濃 <small>の</small> な	三〇・三〇・三〇・三〇・三〇・三〇
新少納言 <small>しんせうなごん</small>	八
資良 <small>すけよし</small>	三・四・五・六・七
少将内侍 <small>せうしやうないし</small>	一・四
少納言清房 <small>せうなごんきよむら</small>	↓清房 <small>きよむら</small>
た行	
大学頭実綱 <small>だいがくとうじつな</small>	↓実綱 <small>じつな</small>
大進君 <small>だいしんきみ</small>	四
大納言経長 <small>だいなごんけいぢやう</small>	↓経長 <small>けいぢやう</small>
大納言殿 <small>だいなごんどの</small>	〔殿の大納言殿〕〔藤原師実〕
大式 <small>だいしき</small>	三・五・六・七
大夫隆国 <small>だいつうこく</small>	↓隆国 <small>りゅうこく</small>
隆方 <small>りゅうかた</small>	五
隆国 <small>りゅうこく</small>	〔大夫隆国〕
隆綱 <small>りゅうな</small>	〔藏人少将隆綱・隆綱中将〕
隆経 <small>りゅうけい</small>	〔春宮大進隆経〕
— 北の方 —	
隆俊 <small>りゅうしゆん</small>	〔隆俊中納言〕
高房 <small>たかむら</small>	三
但馬俊綱 <small>たにましゆんな</small>	↓俊綱 <small>しゆんな</small>
玉川 <small>たまがは</small>	三
為家 <small>ためいけ</small>	三
為仲 <small>ためなか</small>	一四・二〇・三三・四〇・五五・五五・六六・六六・六七・六九

丹波守俊綱 <small>たんばしゆしゆんな</small>	↓俊綱 <small>しゆんな</small>
筑前 <small>ちくぜん</small>	三・四・五・七・九
中将 <small>ちゆうしやう</small>	↓隆綱 <small>りゅうな</small>
中将 <small>ちゆうしやう</small>	↓長房 <small>ちやうぼう</small>
中納言経成 <small>ちゆうなごんけいぢやう</small>	↓経成 <small>けいぢやう</small>
中納言官旨 <small>ちゆうなごんくわんぢみ</small>	三
経方 <small>けいかた</small>	三・四
経長 <small>けいぢやう</small>	〔大納言経長〕
経成 <small>けいぢやう</small>	〔中納言経成〕
経信 <small>けいしん</small>	〔左馬頭経信・経信弁・頭弁経信〕
经衡 <small>けいけい</small>	六
摂津守師家 <small>せつしゆしゆしや</small>	↓師家 <small>しや</small>
春宮大進隆経 <small>しゆんぐわうだいしんりゅうけい</small>	↓隆経 <small>りゅうけい</small>
藤三位 <small>とうさんい</small>	八
頭弁経信 <small>かぶつべんけいしん</small>	↓経信 <small>けいしん</small>
土佐 <small>とさ</small>	三・五・七
俊綱 <small>しゆんな</small>	〔但馬俊綱・丹波守俊綱〕
殿 <small>どの</small>	〔大殿〕〔藤原頼通〕
殿の大納言 <small>どのだいなごん</small>	↓大納言 <small>だいなごん</small>
な行	
典侍 <small>てんし</small>	三・六
長房 <small>ちやうぼう</small>	〔中将〕
入道一品官 <small>にっぽんくわん</small>	〔脩子内親王〕

女院にうゐん（上東門院彰子）……………四・八〇

二位中将殿にじうぢやうぢやう……………一七

信房のぶむら……………四

範永のりなが……………六六

は行

はらから……………一六

尼になる……………一六

山やまなりし……………六五

左馬頭ひだりうまづち経信つねのぶ……………↓経信つねのぶ

ま行

政長まさなが（政長少将）……………八一・八四

まつば……………六六

御匣殿おんひらだん母はは……………三三

陸奥むつ……………一三

美濃みの……………四一・四九・五四

宮亮みやうりやう師基しき……………↓師基しき

宮内侍みやうないし……………三三

民部卿たみべにん……………（藤原長家）……………三三

馬頭うまづち敎家けうけ……………↓敎家けうけ

馬頭うまづち師基しき……………↓師基しき

もとさだ（讃岐守もとさだ）……………一七

もとなり……………六五

もとゆき……………八六

師家しけ……………（摂津守師家）……………五〇・五三

師賢しけん……………（藏人弁・藏人弁師賢・師賢弁）……………一六・四三・九二

師基しき……………（馬頭師基・宮亮師基）……………一六・四三・四六

——祖父そふの入道にゅうだう……………（藤原資業カ）……………一六

や行

よししげ……………五

よしのり……………六〇

頼家よりか……………六・九三

わ行

院中いんちゆう将しやう……………四四